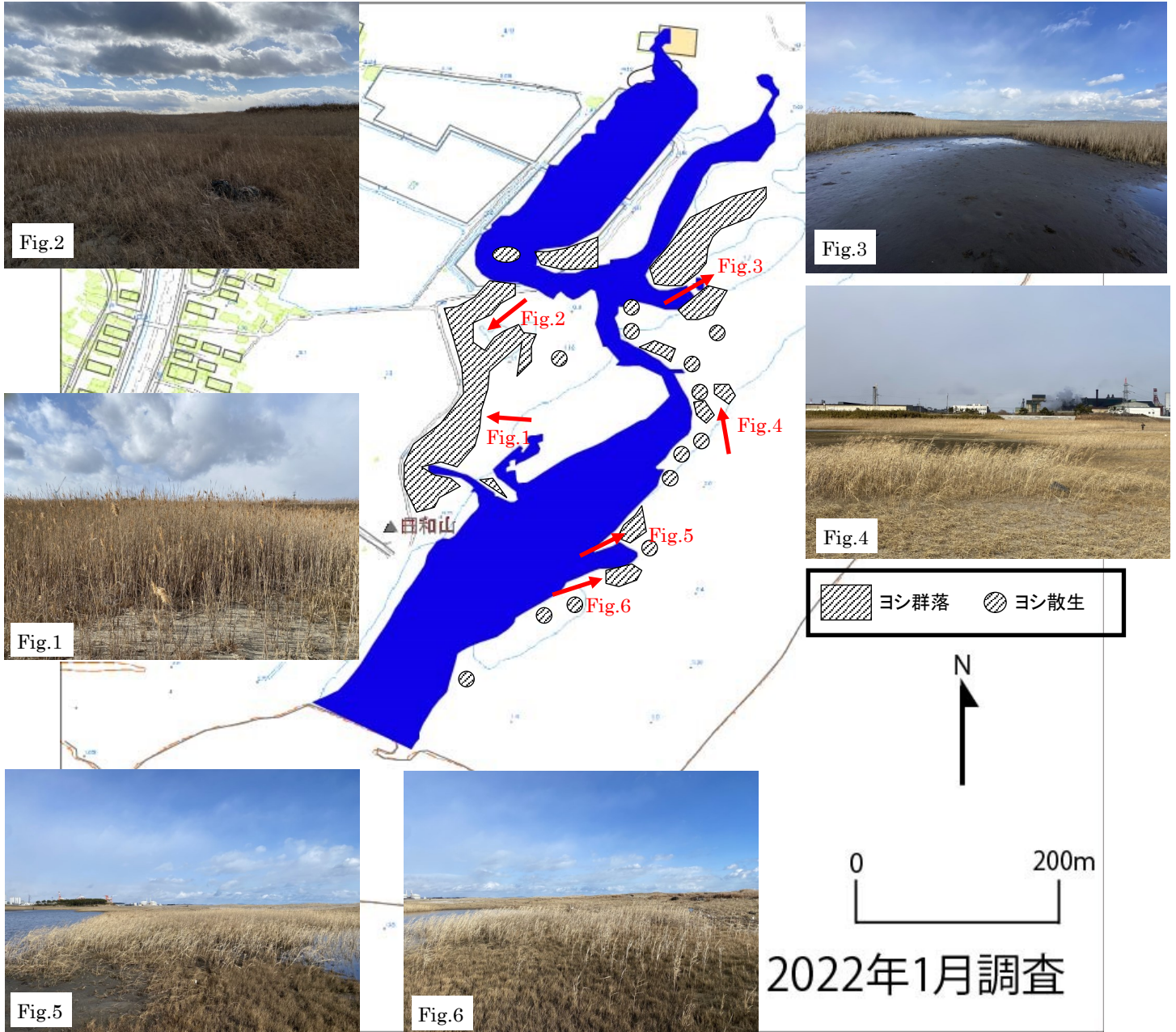


ヨシの分布



調査日時：2022年1月14日（金）12:45～14:15，天気：晴れ

ヨシの生育場所を調査し分布図を作成した。ヨシの分布は年々変化しており，今後の変遷が注目される。潟湖西側の防潮堤に沿って大きな群落がある。この群落はハマツナ群落と隣接しており，境界線では背丈の低い若いヨシがある（Fig. 1, Fig. 2）。また，ハマツナ群落の中にも所々にヨシが点在している。潟湖北側にも，ヨシの群落があり，広範囲に広がっている（Fig. 3）。潟湖東側は，一部を除いて大きな群落はなく，所々に点在しているのがほとんどである（Fig. 4）。潟湖が東側に張り出しているエリアの周辺にだけ群落があるが，周辺にはハマツナ群落が広がっているため，西側同様，今後の広がり方に注目したい（Fig. 5, Fig. 6）。ヨシは自然浄化作用がある他，多くの生物のすみかや隠れ家となるなどその役割は大きい。震災前のようなヨシが生い茂る蒲生にどこまで近づけるか今後も調査をしたい。

（宮崎佳彦）